

(5) 伏黒青果市場のはたらき

やさいやくだものをつとめあつかう青果市場は伏黒にあります。市場には、近くの農家やとなりの町でとれたやさいやくだものが、たくさんあつまります。市場ではそれらをまとめて、やおやさんにおろしうりをしています。

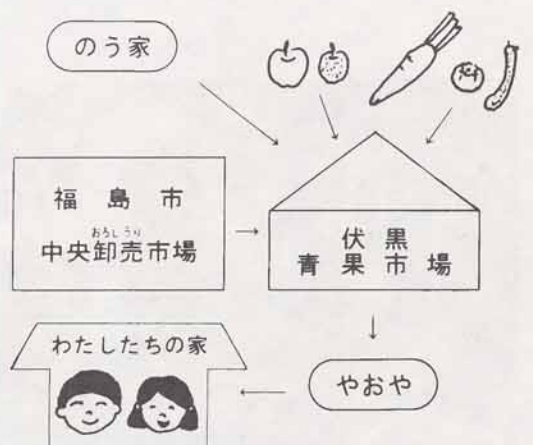
○ 伏黒の青果市場では、もも・りんご・きゅうり・いも・かぶ・ぶどう・いちご・なす・トマト・だいこん・にんじん・ねぎ・白さい・ピーマン・キャベツ・レタス・ごぼう・にら・ほうれん草・アスパラガス・しいたけ・かき・なしなどをとれあつめています。

○ この市場を利用する農家は、伊達町には、およそ600けんあります。農家の人々は、毎朝はやく市場にしなものはこびます。その品物を市場のしょく員がせわをしています。

- ・ せりうり（やおやさんは、しなものをみて、自分で買いたいねだんをきめる。）
- ・ きまったねだんのきろく（組合員の方は、自分の番号や屋号をきめておく。）
- ・ 代金のうけはらい（市場のしょく員は、げん金のとりあつかいをしたりノートにつけたりする。）

近くの町や県外のやおやさんも毎日25～30人ぐらいここでやさいなどを買ひ、売っています。また、ここに運びこまれないしなものでやおやさんがほしいものは、福島中央卸売市場からはこびこまれます。

- 下の図を見て、わたしたちの家に、やさいやくだものがとどくまでのしくみを考えてみましょう。



伏黒青果市場